



# ひよこだより 12月号

平成28年12月9日(金)

一人歩きや伝い歩き、ハイハイなどが出来るようになった子どもたちは、自分の思いのままに動くことを楽しみながら、遊び場を保育室から廊下へと広げていきます。

廊下にクリスマスツリーが飾ってあるのを見つけると、さっそく興味津々で子どもたちが集まって、手を伸ばします。飾りの金のボールや星を引っ張らずにそっと手を触れて、「あっ！だぁ！」と言ってにっこり笑いました。保育士は思わず「きれいね」と共感をしました。その子どもたちの様子がかわいく、美しかったのです。

日々、心身ともに成長する子どもたちの姿を、お家の方々と一緒に見守ることの出来る喜びを感じています。



## ブロック遊び大好き

## はい ごちそうさま！

可愛い小さい手で、ブロックを上へ組み合わせようと一生懸命です。指先を使い、上手に重なったときには、保育士の顔を見上げ、“上手でしょ”と誇らしげな表情を見せる子どもたちです。次はどんな成長を見せてくれるのか楽しみです。



1歳を迎える子どもたちはおやつの後、食べ終わったお皿とコップをちゃんと重ね、両手でしっかり持ってワゴンまで持ってきてくれます。保育士のしていることをよく見て、いつの間にか自分でできるようになりました。お兄さん・お姉さん気分で“上手でしょ”とすまし顔です。



早いもので2016年も残すところ1ヶ月となりました。ひよこ組がスタートした4月から保護者の皆様からご理解と温かいご支援をいただき、保育士も子どもたちと一緒に育っています。来年もよろしくお願ひします。楽しいお正月をお過ごしください。



## すみれぐみだより



平成 28 年 12 月 9 日（金） 発行

12月には生活発表会やクリスマス会と楽しい行事があります。「師走」という名の通り、慌ただしくあっという間に年末がきそうですね。12月16日（金）の生活発表会では日頃クラスで遊んでいる電車遊びや踊りを見ていただきたいと思っています。子どもたちは大勢の保護者を前に緊張すると思いますが、可愛らしく育った姿を見てください。



### 「できた！！」

少しずつ身の回りのことを自分でしようとするようになりました。食事では手づかみからスプーンやフォークを使うようになり、こぼす量も減ってきました。食器が空になると「ピカピカ」と嬉しそうに見せてくれます。

衣服の着脱では、トイレをすませた後、自分でズボンをはくようになったり、パジャマのボタンを留めようとしたりするようになりました。足を通す位置を間違えていたりボタンを留め間違えていたりすると「あれ〜？」と言いながら再び挑戦しています。保育士が手伝おうとすると「自分でする！」というように違う方を向き一人で最後までしようとしています。できたときは「できたね、上手だったね」と認め、次への育ちへとつながるようにしています。

### ★わらべうたの紹介

♪おてぶしてぶし てぶしのなかに  
へびのなまやけ かえるのさしみ  
いっちょばこやるから  
まるめておくれ いーや！

手の中に入る位の大きさのものを用意します。手の平の中にそれを入れ、おにぎりを握るように左右の手のひらをあわせ、歌をうたいながら左右交互に上下させていきます。「いーや！」で左右どちらかの手にその物を握り、左右それぞれグーのこぶしを作り、子どもに「どっちに入っているか」と聞き当たるかどうか、という遊びです。歌を歌っている時、子どもたちは集中して保育士の手を見ており、当たるととてもうれしそうな表情になり「もう1回」と言っています。お家でも楽しむことが出来れば、喜んだ子どもの姿が微笑ましいですよ。



おやつを食べ終わる頃に、幼稚園のバスが通ります。キティーちゃんがたくさんいるバスなので子どもたちは“キティーちゃんバス”と呼んでいます。子どもたちは「今日キティーちゃんバスは？」と保育士に聞いたり、「きたよ！」と気づいた子どもが皆に知らせ窓際に行ったりしており、まわりの生活の様子にも気づいて知らせています。おやつだけでなく、キティーちゃんバスも楽しみな時間となっています。



平成 28 年 12 月 9 日 (金)

「たきび」の歌と共に、北風がピープーと吹いてくるようになりました。園庭の桜の葉っぱは寒さに耐えられずブルブル震え落ちて、冬支度を始めています。子どもたちは床暖房の入った部屋にはいると、「あったかい」と言って冷えた手を床につけて温めながら、♪せんべい焼けたか せんべい焼けたかな?♪と自分の手をせんべいに見立てて歌遊びを始め、温まった手をむしゃむしゃと食べる真似をしていました。想像力の豊かさが膨らみ身近な物を自由に見立て想像し、子どもたちの遊びが広がっていきます。



### ～ままごとあそびでのやりとり～

ままごと遊びが大好きな子どもたち。

「はい！りんご2つにドーナツ1つどうぞ」

「ありがとう」や「おおきいカバンに〇〇入れて、小さいカバンには〇〇入れてね」など、子どもたちの言葉のやりとりを聞いていると、物の数や色、大小、長短などが会話の中に入ってくるようになりました。

保育室でホッチキスや穴開けパンチなど使っていると「これなあに」と聞いてきます。

「こうやって使うのよ」と伝え「やってみる?」と聞くと「うん！したい」と返事が返ってきます。毎日の生活中でいろんなものに目を向けながら興味が広がっていくようで、子どもの「やってみたい」の意欲や興味を引き出すような環境作りを整えていきたいと思っています。



### \* お昼寝まえに読む大好きな絵本の紹介 \*

夕暮れのワンシーンからスタートして、次のページには小さなホタル。

「やさしく ホタルに さわってみて」というように

そっとホタルに触れると……ほら！ホタルが光ります。

空をあちこちさわってみると、空のあちこちにホタルが……。

「そっと いきを かけてみて」と、子どもたちが夢を追います。

「こじかを なでて『おやすみなさい』って いってごらん」

「ゆっくり みつつ かぞえてみよう」

話しかけられるたびに、子どもは絵本の中に入り込んでいます。

子どもの動きに応えるように、画面が展開していきます。



2 歳児担任：崎野・河内



H28.12.9(金)

## 「楽しみ♪」

こすもす組は3つのグループに分かれて生活発表会で表現します。

1つ目は「ややこしや」と「いろはにこんぺいとう」という言葉遊びです。絵本を読んでいると何回目かでもう覚えていて3歳のこの時期の記憶力のすごさに驚きました。

2つ目は「山の音楽家」のリズム表現です。この歌は子どもたちが好きな歌です。4月からタンバリンやすず、カスタネット、太鼓などいろいろな楽器を使って遊んできました。

3つ目はねこのピートです。「ねこのピート」の絵本を読んだときに「ねこのピート面白かった!!」「もう一回読んで!!」と子どもたちの反応がかえってきました。絵本の中に出てくる歌のフレーズは毎回大合唱です。表現遊びをしているときもノリノリです。ねこのピートになって楽しそうに歌ったり、踊ったり、セリフを言ったりしています。

子どもたちは「ママたち、来る?」「早く来んかなあ。」と今から楽しみにしているようです。本番では緊張したり、間違えたりすることもあると思いますが、成長した子どもたちの姿とそれぞれ一生懸命表現する姿を見ていただけたらなと思います。



## 「久々の再会??」

生活発表会に向けて3、4、5歳児の縦割りグループでそれぞれ練習しています。3歳児の保育室を離れて練習し、自分の保育室に帰るのですが、3歳児保育室に入るなり「僕がおらんやったけ、先生さみしかったでしょ?」と心配そうにそして笑顔で言いました。子どもたちは自分の家から離れていたという思いがあつての言葉だったと思います。私もまるで母親のような気持ちになり「さみしかったよお。」とかわいくて抱きしめていました。

## 「お願い」

☆生活発表会で「ねこのピート」の表現遊びをします。保護者の方にも参加していただいて子どもたちとの言葉のかけ合いができたらいいなと考えています。保育士がセリフを書いた紙を見せますのでみなさんでそのセリフを言っていただきたいと思います。ご協力お願いいたします。

## 「サンタさん 早く来ないかなあ」

12月に入り、子どもたちはサンタクロースやプレゼントの話をうれしそうにしています。子どもたちはとても待ちわびているようです。「いい子にしたら来るんよねえ。」「ママがサンタさん、見とるって言いよったよ。」というほほえましい会話でクリスマスを楽しみにしています。



# ひまわりだより



H.28.12.9 (金)

子どもたちと4月はできなかったけれど、今はできるようになったものはなにかを一人ひとり考えてみました。すると子どもたちから「わたしはけん玉ができるようになったよ」「ぼくはお手玉ができるようになった」などとさまざまなものがあがりました。そして「できるようになったことをみんなに見てもらいたい！」という意見がでてきたので、生活発表会で披露することに決め、どの順番に見せるか、どんなふうに登場するかなどみんなは何度も相談しました。

練習をしているときのことです。自分の番になってもセリフを覚えていなかったのか、なかなか出てこない友だちに、他の友だちが代わりに出てきてセリフを言い、自然に助けようとする子どもたち。優しさと共に、自分のセリフだけでなく友だちのセリフまで覚えている姿に成長を感じました。

みんなで協力して作り上げた生活発表会をお家の方々に見ていただけることを楽しみにしている子どもたちです。



## ～消防自動車かっこいい～

11月18日に消防訓練がありました。

子どもたちは消防士の話を真剣に聞き「どうしたら消防士になれますか？」と質問し「先生の話をしっかり聞いて勉強をがんばったらなれるよ」とアドバイスをもらい憧れの思いが強くなったようです。

車両見学では後部座席に座らせてもらい「ちょっとだけ消防士さんになれたみたい」と嬉しそうに目を輝かせていました。



4歳児担任：木山・有園

